

安全衛生管理の取組み

建設省中国地方建設局松江国道工事事務所

1. はじめに

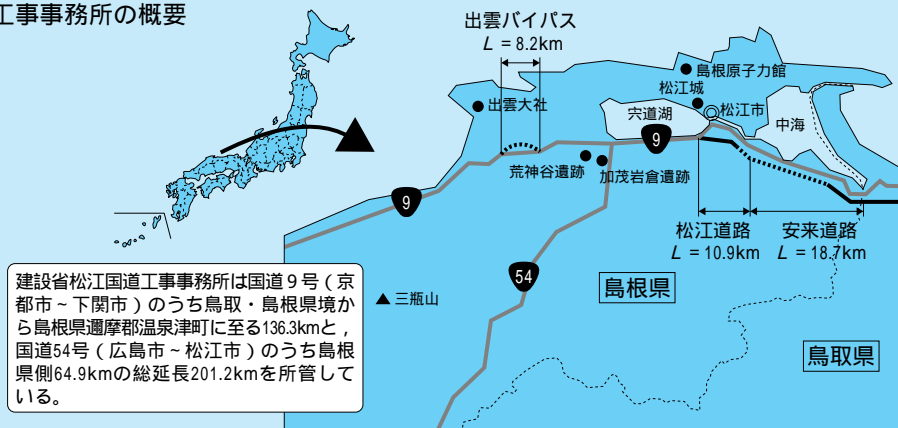
建設省松江国道工事事務所がある鳥根県は、中国地方北部の日本海側に位置し、東西に約200kmと細長く、歴史的にも風土的にも異なった背景をもつ出雲、石見、隠岐の三地域から成り立っています。主要な産業として豊かな自然を活かした農林水産業が就業人口・県内総生産ともに高い割合を占めており、多くの名産品・特産品を生み出しています。また各地に残る史跡、旧跡を活かした観光も、鳥根県の主要な産業の一つです。

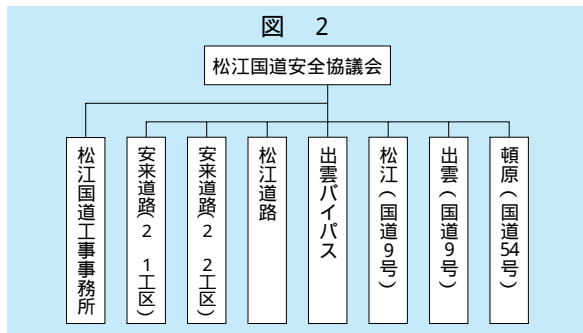
建設省松江国道工事事務所では、国道9号（京

都市～下関市）のうち、鳥取・鳥根県境から鳥根県邇摩郡温泉津町に至る136.3kmと、国道54号（広島市～松江市）のうち鳥根県側64.9kmの総延長201.2kmを所管しており、広域交流を支援する高規格幹線道路の整備および渋滞対策としての都市部のバイパスや、現道の機能向上のための改良などの事業を行っています。

この中で高規格幹線道路網の一部として事業を進めてきた「安来道路（ $L = 18.7\text{km}$ ）」と「松江道路（ $L = 10.9\text{km}$ ）」が平成13年春の全線暫定供用を目指して、現在工事が最盛期を迎えています。また国道9号の特に出雲市内の渋滞緩和を主目的とした「出雲バイパス（ $L = 8.2\text{km}$ ）」は一

図 1 建設省松江国道工事事務所の概要





昨年、昨年と続いた部分供用を経て、現在も事業を促進しています（図 1）。

建設工事における労働災害防止と適正な安全管理についてさまざまな取組みが展開されている中、これらの事業に関わる松江国道工事事務所発注工事について、当事務所ならびに施工企業は丸となって安全衛生活動に取り組んでいます。以下、当事務所における事業のより安全な施工を目指して組織された「松江国道安全協議会」の概要と主な活動内容についてご紹介いたします（図 2）。

建設業災害の傾向

建設工事における安全確保については従来から重要な課題と認識され、各種の技術基準および通達に基づいてさまざまな安全対策が講じられています。

しかし建設産業の労働災害状況を見てみると、死亡者数は1998年に過去最低になったとはいえ、99年は再び増加傾向となり、労働省が2000年2月に発表した速報値によれば1999年1月から12月までの建設業における死亡者数は合計768人と、全産業の約4割にのぼり、最も高い比率を占めているのが実態です。

重大事故が発生し続けている背景には、近年の建設工事では自然環境条件の厳しい場所での工事や市街地工事など施工条件が複雑化している一方で、熟練労働者の不足や高齢化の進行、下請工事比率の増大などの建設産業の構造変化が著しいことなどがその理由として考えられます。

ここ数年に起こった重大事故の内容を見ると、

熟練労働者不在による現場の危険予知能力の低下や、受発注者間また現場内でのコミュニケーション不足からくる指示伝達の不備、計画の検討が不十分なままでの施工など、設備の不備よりも人に起因するヒューマンエラーから起こる事故が増加しています。

このような傾向の中で事故を未然に防止するには受発注者はもとより、現場作業員等関係者すべてがおおのこの立場で安全意識を高め、自立的な安全対策を講じることが必要だといえます。

松江国道安全協議会の取組み

このような背景から松江国道工事事務所では、工事受注企業各社による7ブロックの協議会で構成される「松江国道安全協議会」を組織し、受発注者一体となった安全衛生活動を行っています。

主な取組みとして、安全に関する講習会の開催（図 3）や定期的な安全パトロールの実施（写真 1）、重点的な安全総点検などを協議会全体で行い、建設従業者全体の安全に対する意思統一と創意工夫の安全推進活動を行い、一人ひとりの安全意識の向上を図っています。

このような経常的な取組みに加え、平成10年度には安全作業を行うための着目点などについて「労働安全衛生法」を始めとする数十の関係法令および規則をデジタル化し、速やかに検索することを目的とした安全作業ガイド「CD ROM」版を作成しました（写真 2）。

作成にあたっては会員各社が分担して取りまとめを行い、試作品を作成し、各現場で検証するなどの工程を経て完成しました。この安全作業ガイド「CD ROM」版は、日常の安全チェック、教育、各種届け出の確認などに活用しています。

図 3 平成11年度建設省松江国道安全協議会開催一覧

- 第2回 H11.6.23 13:30~16:00 139名出席 くにびきメッセ
1. 会長挨拶
 2. 事務所所長挨拶
 3. 労働災害の防止について 矢田副所長・工務課長《橋脚事故事例の説明》
 4. 講演：『心とからだの健康』 福井一明先生
 5. 特殊工法説明 3社

写真 1 安全パトロール
(平成10年9月10日)



写真 2 安全作業ガイド
(CD ROM 版)

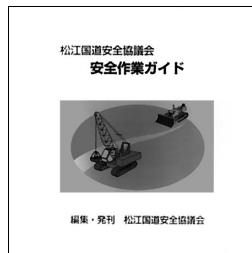


写真 3 安全衛生管理計画
策定の手引き



また平成11年度には施工の安全確保をさらに徹底するため、工事全体の施工管理の基軸となる施工計画における安全衛生管理について着目し、「安全衛生管理計画策定の手引き」として取りまとめました(写真 3)。

協議会構成各社の当該工事現場(111現場)の施工計画書に記載されている安全衛生管理に関わる部分について集約を行った結果、安全管理体制、対策などに関して各企業間でも考えや取り組み方に差異がみられ、これは工事の種類、規模、施工環境などが十分に考慮されていないこと、また体制・体系の標準化、統一化が図られていないことが要因であると考えられました。このため、企業各社が新たに施工計画を策定するにあたって基本となる手引き書として安全施工についての技術的内容や、先に取りまとめた施工計画の記載例、および安全衛生管理計画様式集を作成しました。

これは、よりの確な安全衛生管理計画の策定にはもちろん、日常の安全管理に活用し、建設工事の安全確保を図ろうとするものです。

おわりに

以上、「松江国道安全協議会」の安全衛生活動についてご紹介いたしました。その中で常に念頭にあるのは、工事に携わる各人が自立的に高い安全意識をもち、一つひとつの行動が常に安全を考慮したものになるべきであるということです。今後も会員すべてがそうした共通の目標をもちながら、相互の協力のもとさらに活動を充実させ、安全性を向上させていくことが重要であると考えます。

* 松江国道ホームページ

<http://www.matsukoku-moc.go.jp/>

協議会会員企業より

奥村組土木興業株式会社

日本経済の長かった不況も、ようやく回復の兆しが見られておりますが、建設業界に限ってはますます厳しさを増しており、21世紀に生き残れる企業となるため、当社では「レイアップ作戦」による施策で経営体質の強化を図っているところです。

安全に関しても同様で、会社員と関係協力会社の強い意志をもって安全に強い企業体質にしていく必要があります。当社としても、安全管理を見直す事によって「安全の原点」に立ち返ることを第一にし、そして社員一人ひとりが自分の行動を見つめてヒューマンエラーによる災害をなくそう、ということから、平成12年度のスローガンを「見直そう 安全管理 みつめよう 自分の行動」といたしました。安全の基本を忘れず、当たり前のことを当たり前に行う大切さを十分理解することが大切だと思います。

このたび、松江国道安全協議会の活動の一環として、作成しました『安全作業ガイド(CD ROM 版)』および、『安全衛生管理計画策定の手引き』を基本として、安全の計画および現場作業員等関係者すべてが、安全意識を高め、自立的な安全対策を講じるガイドとして、当社も全社に展開を行い役立てたい考えであります。

21世紀の建設業が今後とも健全に発展していくには、「人間尊重」の基本理念のもとに、労働災害をなくして、安心して働ける職場作りが必要不可欠なため、積極的に安全衛生管理活動に努める次第です。

「レイアップ作戦」とは、ゴルフ戦略用語で、リスク覚悟で距離を稼いで攻めるだけでなく、状況に応じ最善のポジションをキープし、確実かつ安全にホールを攻略する戦法。(安来道路日白改良工事施工)